

1 NBCI ロードマップ活動

産業界が主体となり、学官の協力の基にビジネスを指向したビジネス戦略ロードマップを策定し、ナノテク関連市場の新規開拓・拡大を目指す。

1) 新市場開拓・ロードマップ作成委員会

産業・技術別に8つの分科会を構成し、分科会間の情報交換、NEDO,AIST等との情報交流を通じて、ロードマップ活動を推進中。

新市場開拓・ロードマップ作成委員会

エレクトロニクス分科会

バイオ分科会

燃料電池・エネルギー分科会

環境分科会

超精密製造・加工分科会

触媒・塗装・材料分科会

航空・輸送機器分科会

計測評価装置分科会

2) アドバイザリーボード

AIST

吉川理事長

NIMS

岸 理事長

(以下氏名五十音順)

AIST

飯島センター長

JAXA

石川航空プログラムディレクタ

東北大学

江刺教授

東北大学

大見教授

京都大学

小久見教授

AIST

小野理事

北陸先端大

亀岡特任教授

大阪大学

川合教授

名古屋大学

篠原教授

京都大学

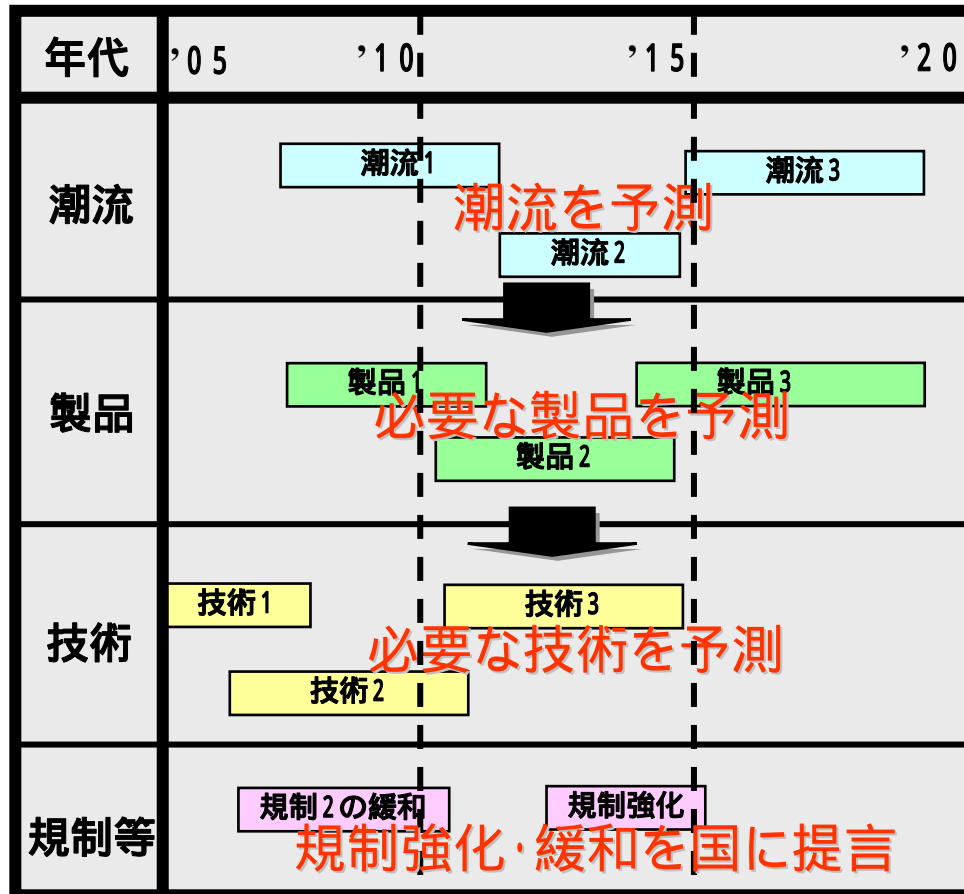
平尾教授

国連大学

安井副学長

3) ビジネス戦略ロードマップの作成方針

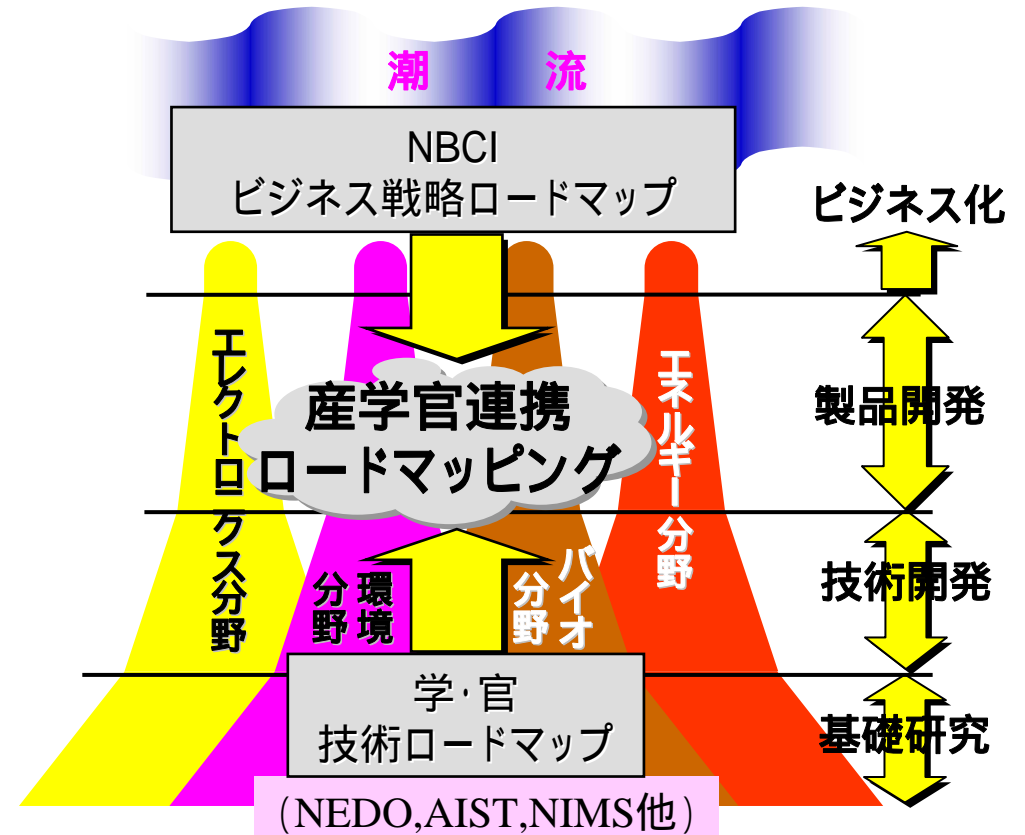
1. 産業分野別に将来の潮流を予測
2. 潮流の実現に必要な不可欠な製品や部品、技術をロードマップに纏める



4) 産学官連携によるロードマッピング

NBCIのビジネス戦略ロードマップと学・官の技術ロードマップを融合させ、日本総意の研究・ビジネス活動を目指す。

産学官総意により重要技術を明確化
産学官が協力して重要技術・製品を開発
(国プロ活用他)

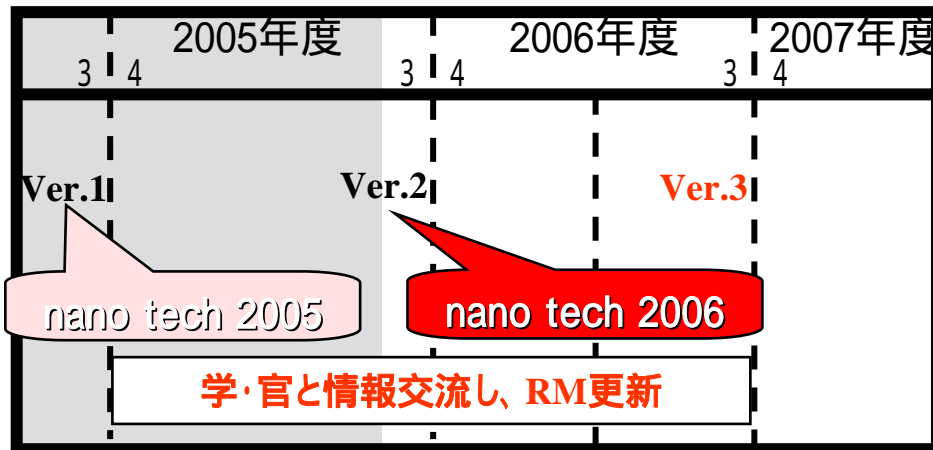


3

5) ビジネス戦略ロードマップの意義と効用

1. 日本が世界の産業を先導するための重要ツール
2. 産業界と学・官間の協力・協調範囲の明確化
3. ビジネス化の加速

6) NBCIロードマッピングスケジュール

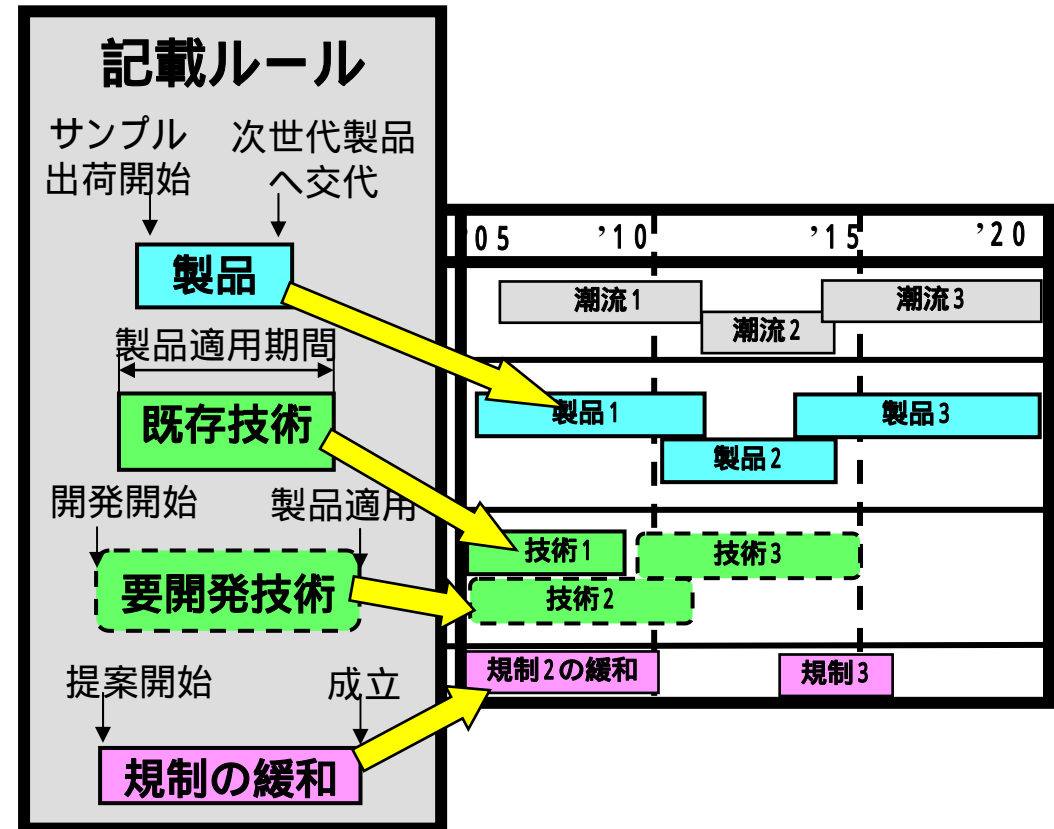


7) 今後の課題

1. Ver.3に向けたビジネス戦略ロードマップの変革手法検討と活動への展開
2. ビジネス戦略ロードマップと技術ロードマップとの情報交流の継続

8) ロードマップの記載ルール

1. 予測年代を 現在～2020年とする。
2. 技術は 既存技術 と 新たに開発すべき技術 の2つに区別して記載する。



4

対外発信活動

2005年

- ・3月10日 内閣府、経済産業省、文部科学省への説明会
- ・4月15日 会員企業への説明会
- ・5月23日 「科学技術創造立国推進調査会」& 各省庁の関係者70名に対し、ロードマップの内容を説明
- ・6月2 3日 国際ナノテク会議 (International Nanotechnology Conference at San Francisco) で、NBCIロードマップ活動を紹介

NBCI ロードマップ活動

産業界が主体となり、学官の協力の基にビジネスを指向したビジネス戦略ロードマップを策定し、ナノテク関連市場の新規開拓・拡大を目指す。

1) ビジネス戦略ロードマップの作成方針

- 産業分野別に将来の潮流を予測
- 潮流の実現に必要な製品や部品、技術をロードマップに導く

2) 新市場開拓・ロードマップ作成委員会の構

産業・技術別に6つの分科会を構成し、ロードマップ活動を推進中

年代	05	10	15	20
潮流		1. 潮流を予測		
製品		2. 必要な製品を予測		
技術		3. 必要な技術を予測		
規制等		4. 規制強化・緩和を国に提言		

アドバイザーボード

- ① エレクトロニクス分科会
- ② バイオ医療・化粧品分科会
- ③ 燃料電池・燃料分科会
- ④ 環境分科会
- ⑤ 超精密製造・加工分科会
- ⑥ 触媒・塗料・材料分科会
- ⑦ 航空・輸送機器分科会
- ⑧ 計測・検査装置分科会



「科学技術創造立国推進調査会」でのロードマップ説明風景